市長室より

Next! 岡崎

次の新しい おかざき

岡崎市長

内田　康宏

7年ぶり不交付団体へ

今年度、本市は国からの普通交付税を受けずに行政を運営できる「不交付団体」になりました。普通交付税は、地方公共団体の財源の不均等を調整し、どの地域でも一定の行政サービスが提供できるよう国が財源を保障するものです。不交付団体とは、国が認めた財政的に自立した団体と言えます。

これに先立ち過日、平成27年度決算を発表しました。一般会計の予算規模は、歳入約1236億円に対し、歳出は約1183億円で、前年度を約6パーセント上回りました。余剰金約47億円のうち30億円は、今後の財政需要に備えて、財政調整基金へ積み立てます。歳入は、景気の緩やかな回復によって市民税、固定資産税などの市税が、約3億円増となり、過去3番目の規模となっています。主な歳出としては、来月リニューアルオープンする市民会館改修や床上浸水対策事業の完了など市民生活に直結する事業が大きく前進しました。また、東部学校給食センター建設、百々保育園の建て替えなど子育てや教育環境整備にも積極的に取り組んできました。今後も引き続き財政の健全運営に努め、活力あるまちづくりを進めてまいります。